

個人投資家向け会社説明会

「+YOU ニッポン応援全国キャラバン in 岡山」



私たちトレックス・セミコンダクターは

小型化・省電力化で

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

2018年8月23日

トレックス・セミコンダクター株式会社

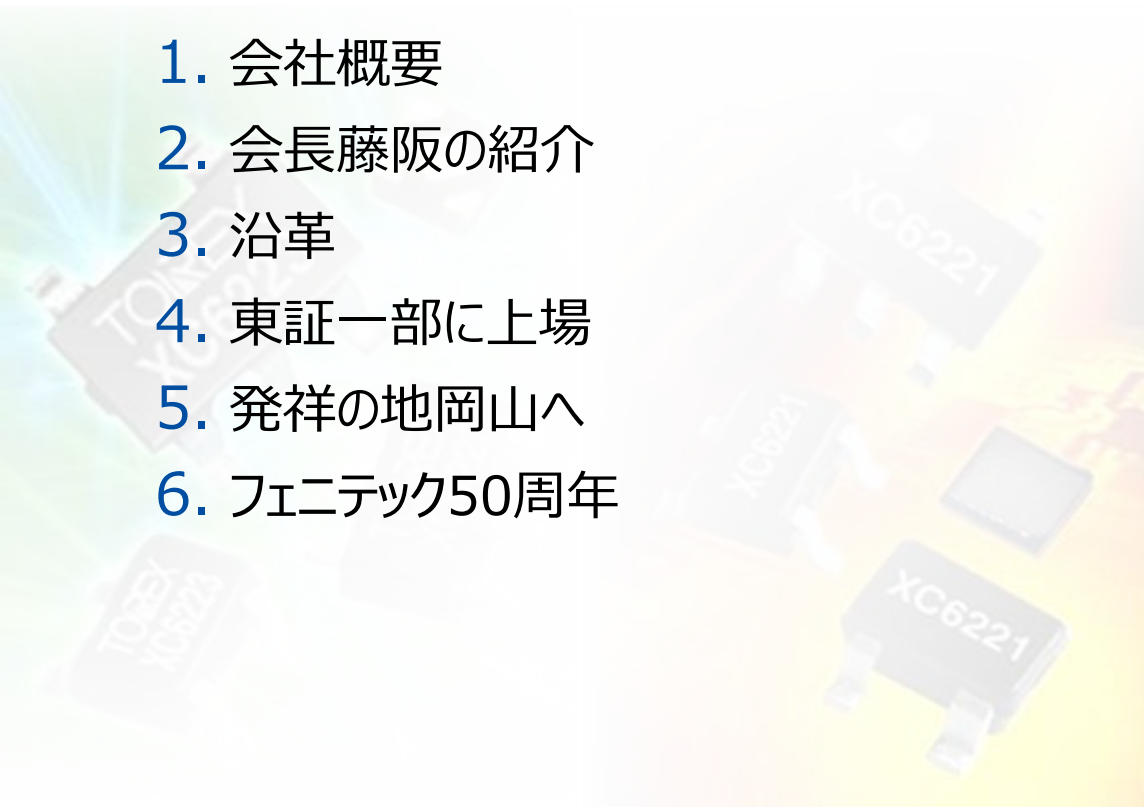
1 会社紹介

2 事業内容

3 業績

4 株主還元

1. 会社紹介

- 
1. 会社概要
 2. 会長藤阪の紹介
 3. 沿革
 4. 東証一部に上場
 5. 発祥の地岡山へ
 6. フェニテック50周年

1 会社紹介

2 事業内容

3 業績

4 株主還元

1. 会社紹介

1-1. 会社概要

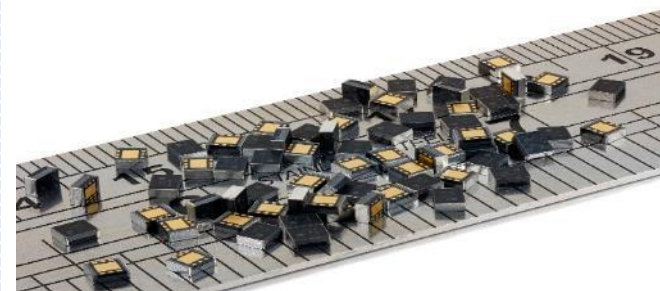
- 2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、東証二部を経て2018年3月に東証一部に市場変更した、創業23年の半導体メーカーです。

アナログのチカラ

ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 ユニゾ新川永代通りビル
代表者	代表取締役会長 藤阪 知之 代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	29億6,793万円（2018年6月30日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：160名 / グループ：988名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第一部 2018年3月22日
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に
適応した価値ある製品を創出し、豊か
な社会の実現と地球環境の保全に貢
献するとともに、私たちの事業に携わる
すべての人々が共に繁栄することを企
業の理念とする。



1. 会社紹介

1-2. 会長 藤阪の紹介



昭和18年 8月16日 広島県福山市生まれ

昭和41年 3月 東京理科大学理学部応用数学科を卒業後、福山電波工業高等学校（現 近畿大学附属福山高等学校）にて教諭として勤務

昭和44年 4月 興譲館高等学校 教諭を経て、昭和45年 4月にシンコー電器(株)入社

昭和62年 7月 同社取締役役に就任

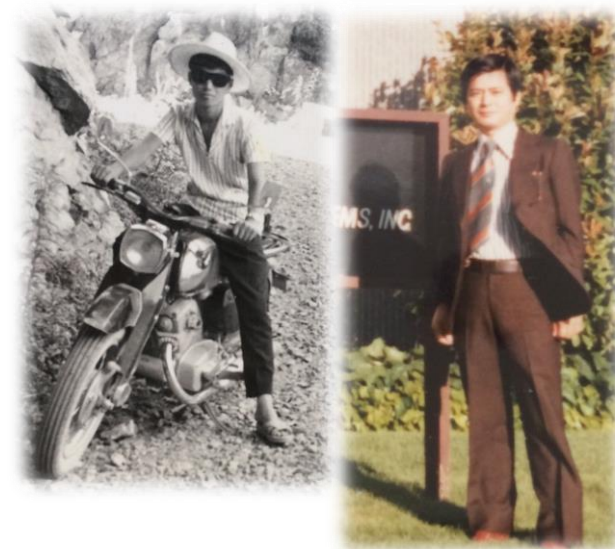
平成 7年 3月 トレックス・セミコンダクター(株)取締役役に就任

平成11年 3月 当社専務取締役

平成14年 6月 当社代表取締役社長

平成27年 6月 当社代表取締役会長

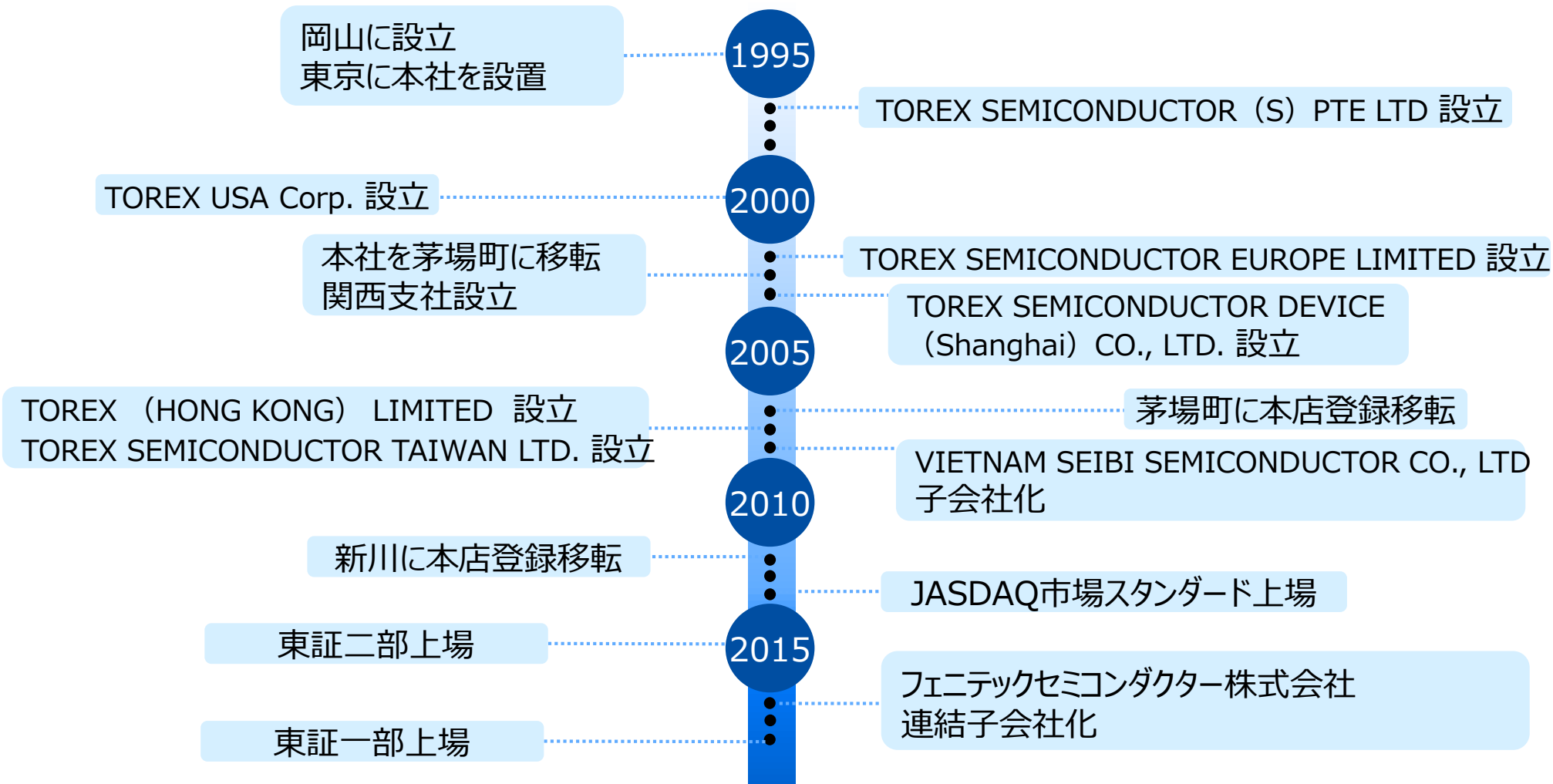
趣味：料理、読書



1. 会社紹介

1-3. 沿革

- 1995年に**岡山**で設立。電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業技術の発展に貢献してきました



1. 会社紹介

1-4. 東証一部に上場

- おかげさまで、2018年3月22日に東証一部に上場いたしました。



1. 会社紹介

1-5. 発祥の地岡山へ

- 2016年4月のフェニテックセミコンダクター(株)子会社化により、
発祥の地**岡山**に戻ってまいりました

フェニテックセミコンダクター株式会社

本社所在地	岡山県井原市木之子町150番地
事業内容	半導体素子、半導体製品の製造・販売
従業員数	650名
事業所	岡山：本社工場・第一工場 鹿児島：鹿児島工場 京都：京都デザインセンター



岡山本社工場



岡山第一工場

1. 会社紹介

1-6. フェニテック50周年

- 2018年4月21日に岡山県井原市にて50周年記念式典を実施しました。



2. 事業内容

1. トレックス・グループの事業内容
2. トレックス・グループの拠点
3. トレックスが展開する事業
4. フェニテックが展開する事業

1

会社紹介

2

事業内容

3

業績

4

株主還元

2. 事業内容

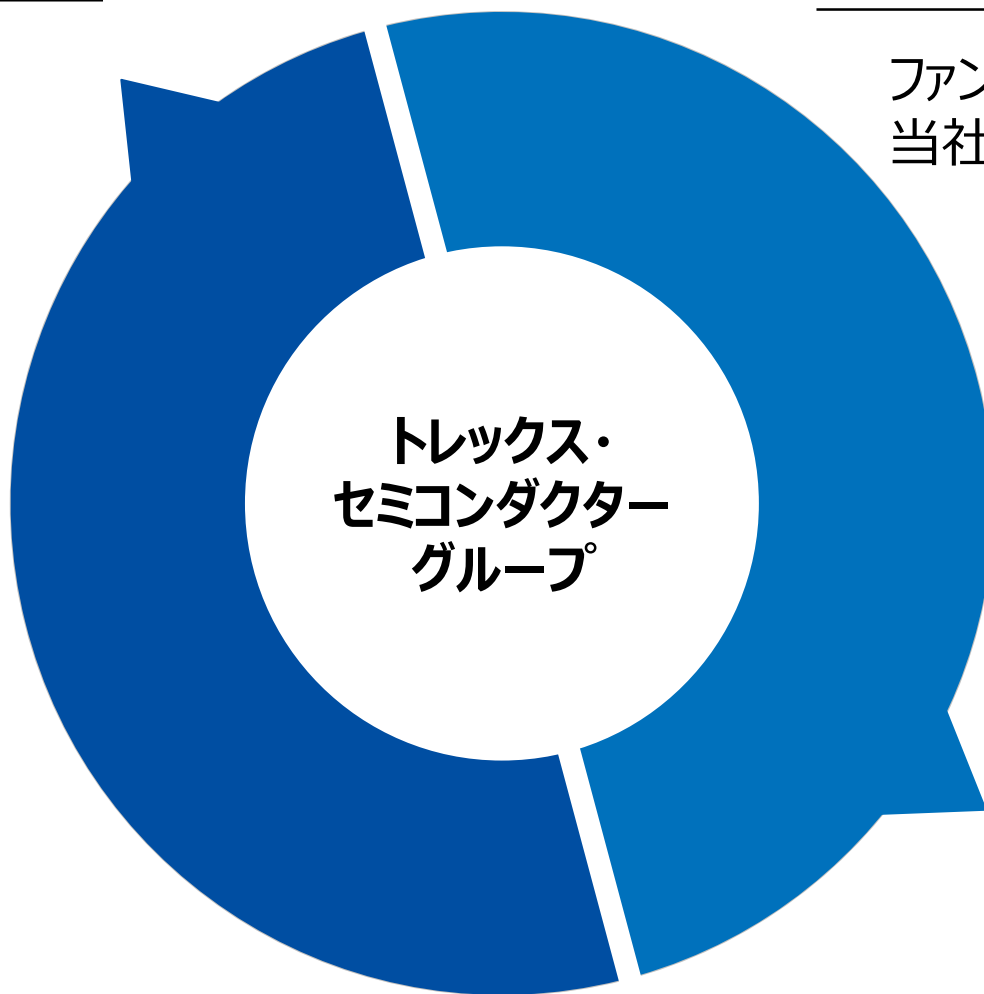
2-1. トレックス・グループの事業内容

トレックス・セミコンダクター

超小型・省電力
電源ICの開発・販売

フェニテックセミコンダクター

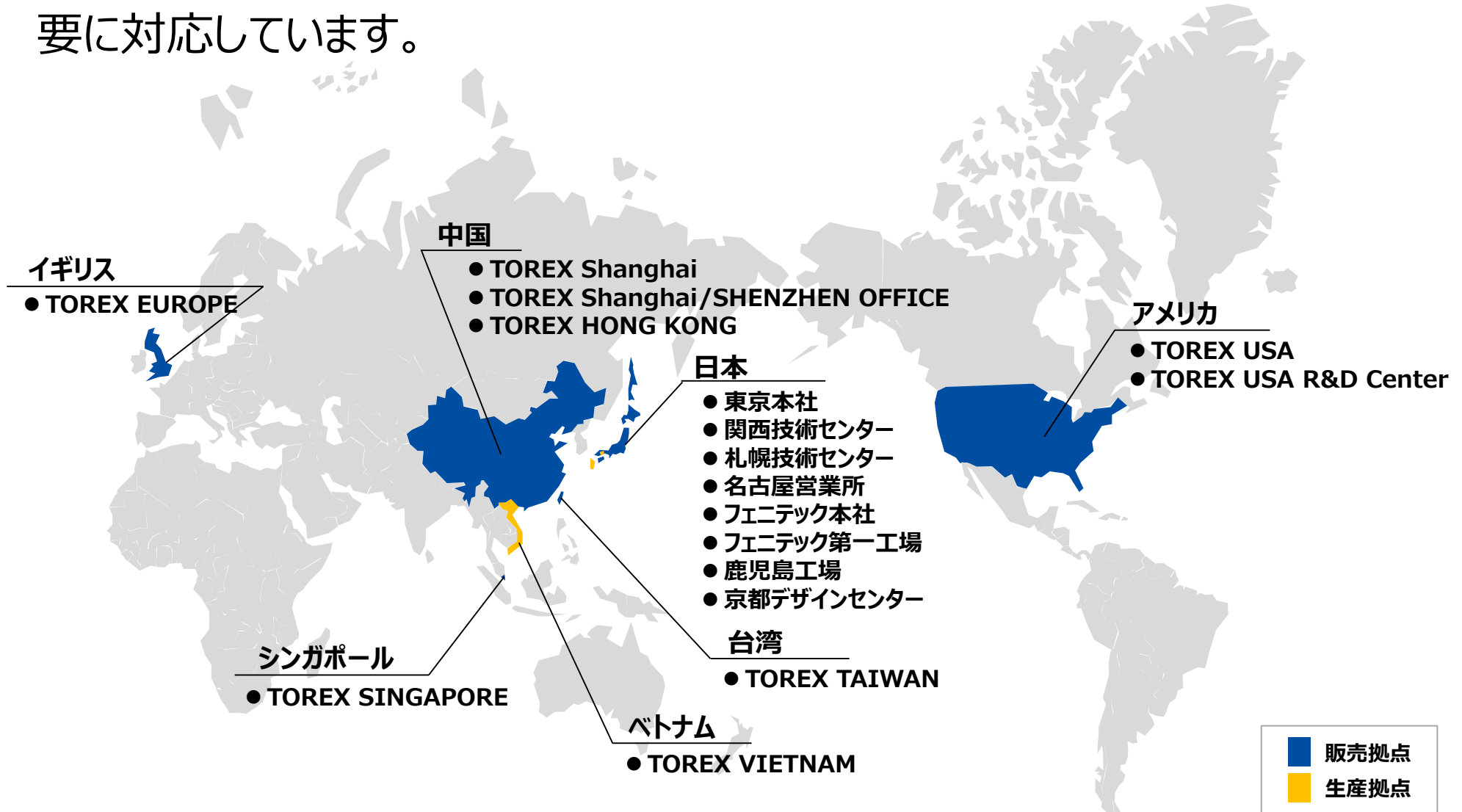
ファンドリー（半導体受託製造）
当社出資比率69.6%



2. 事業内容

2-2. トレックス・グループの拠点

- 国内に東京本社を含む 8 拠点、海外6カ国に8つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



2. 事業内容

2-3. トレックスが展開する事業①

- あらゆる電子機器に不可欠の電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



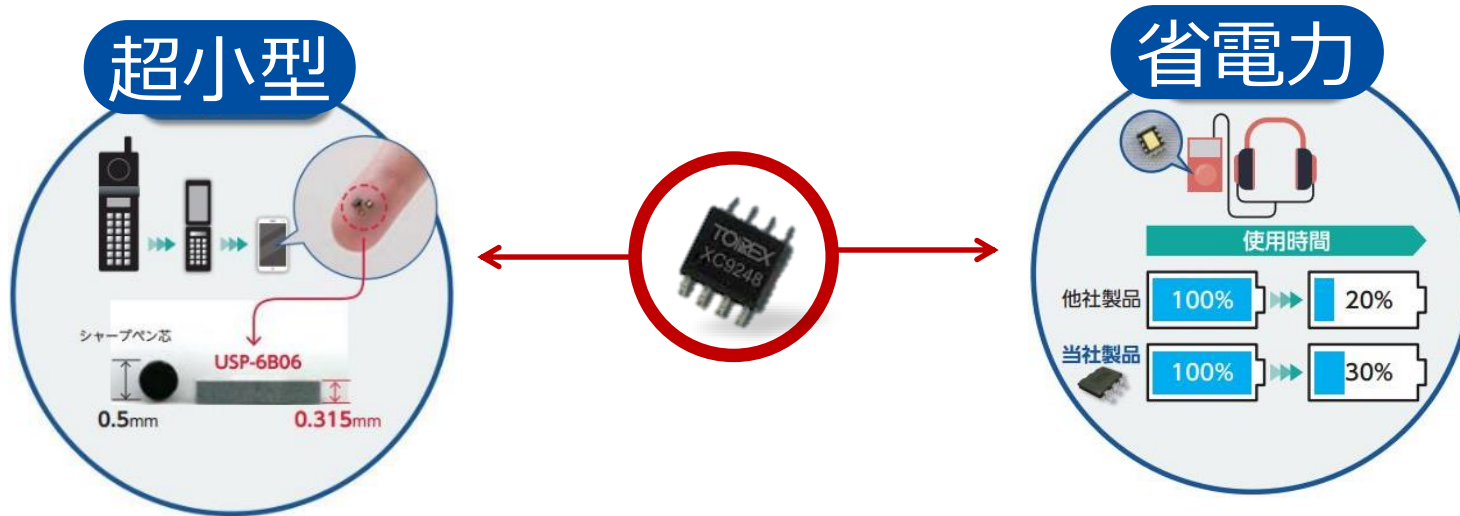
電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

2. 事業内容

2-3. トレックスが展開する事業②

- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

TOREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

2. 事業内容

2-3. トレックスが展開する事業③

- 当社の小型・省電力製品を開発する技術力は、多くの評価を頂いています。



**経済産業省主催「第7回ものづくり日本大賞」
製品・技術部門において、優秀賞を受賞**



**電子デバイス産業新聞主催
「半導体・オブ・ザ・イヤー2017」の
半導体デバイス部門において優秀賞を受賞**

2. 事業内容

2-3. トレックスが展開する事業④

- 電気を必要とする機器には **すべて** 電源ICが使われています



世界は「アナログ」でできている
あらゆるフィールドで採用されるトレックスの電源IC

家電製品	液晶テレビ / 美容機器 / 家庭用ゲーム機 / 生活家電 / ホームシアター / LED照明	産業機器	産業用ロボット / POSレジスター / POS端末 / 工業用測定器 / スマートメーター / セキュリティ機器
医療機器	電子体温計 / 体重計 / 血圧計 / 心電計 / 血糖値計 / モニタリング機器	車載機器	カーナビゲーション / カーオーディオ / パワーウィンドウ / パワーシート / ETC車載機 / ドライブレコーダー用カメラ / バックビューモニター用カメラ
ウェアラブル機器	スマートウォッチ / スマートグラス / スマートカード / ウェアラブルカメラ / ウェアラブル端末	PC関連・コミュニケーション	スマートフォン / PC周辺機器 / デジタルカメラ / ICレコーダー / ノートパソコン / 電子辞書 / 電子書籍端末 / 携帯ゲーム

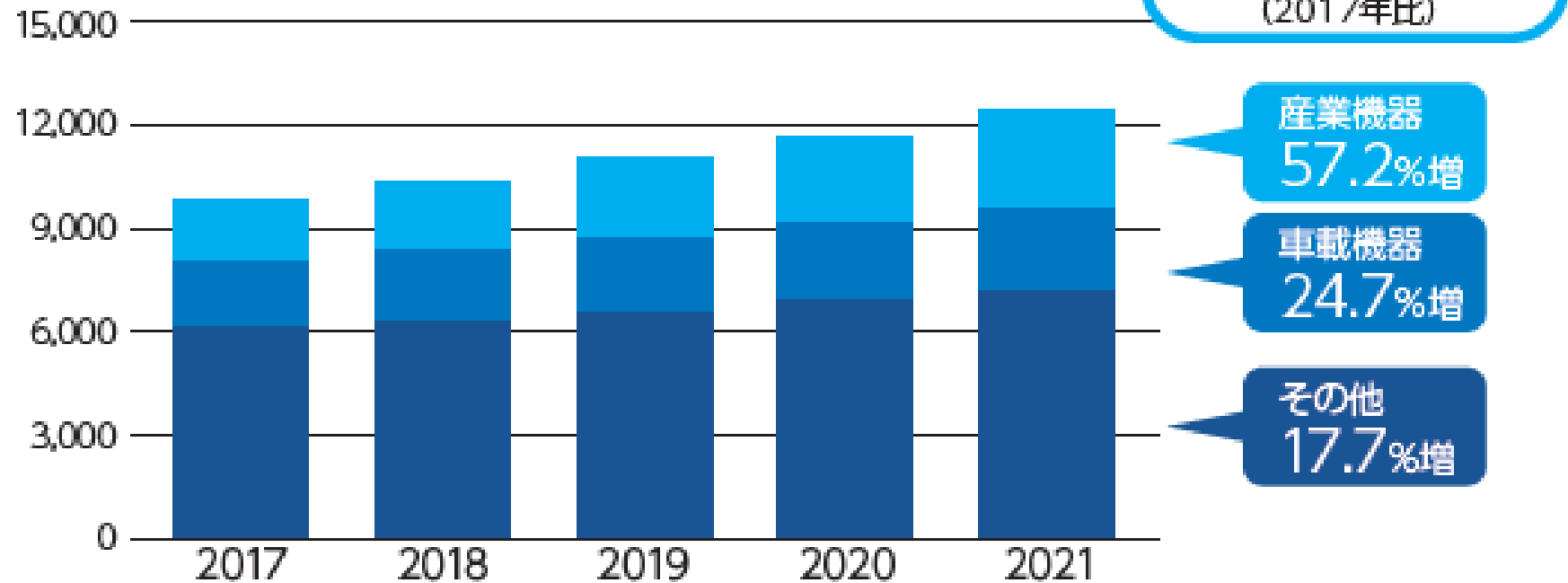
2. 事業内容

2-3. トレックスが展開する事業⑤

- これからの電源IC市場は車載・産業機器分野において相対的に高い成長が期待されます。

■ 世界の電源IC分野別市場規模の推移

(単位：Millions USD)



出典：IHS Global株式会社調べ(2017年)

2. 事業内容

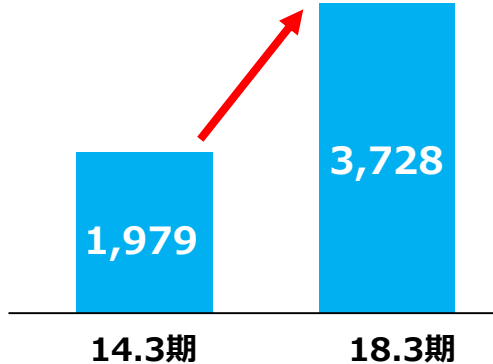
2-3. トレックスが展開する事業⑥

- 今後も高い成長が見込まれる車載・産業機器分野に注力していきます。

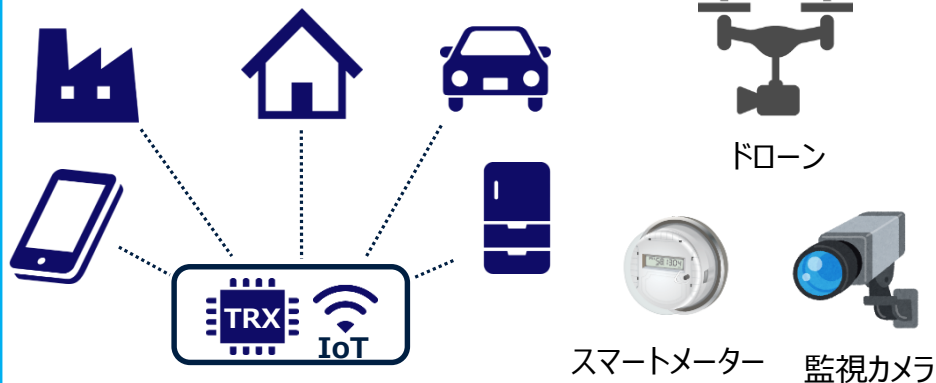
産業機器

産業機器の売上高

5年で約1.9倍



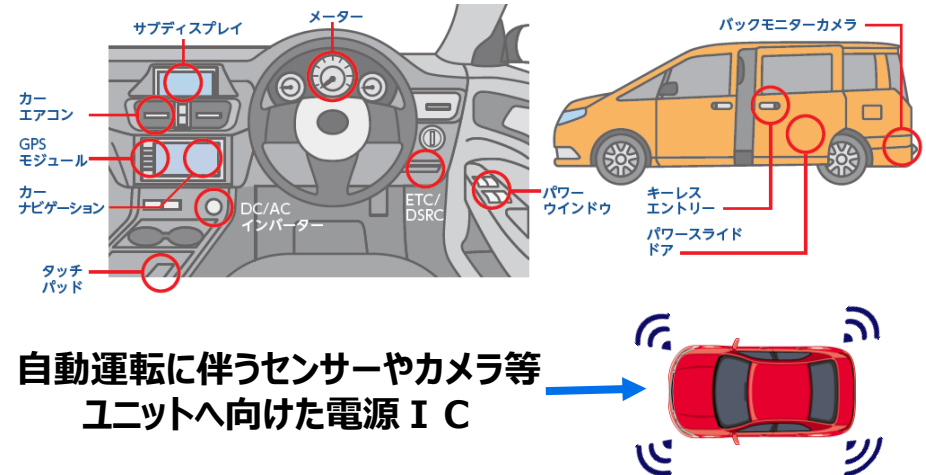
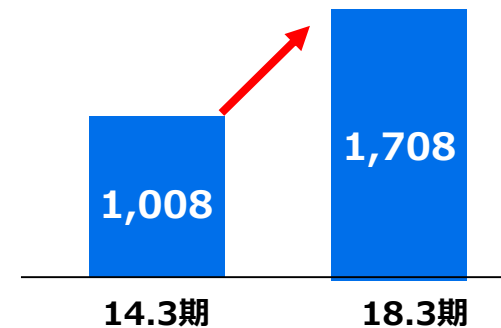
様々な機器とつながるIoT



車載

車載の売上高

5年で約1.7倍



2. 事業内容

2-4. フェニテックが展開する事業①

- フェニテックセミコンダクターは、国内唯一の半導体受託製造専門メーカーです。

前工程(ファンドリーサービス)				
生産				部分加工
自社開発品 =オリジナル製品		生産受託品 =カスタム製品		生産受託品 =カスタム製品
既存製品を 提案/提供	お客さまの 要望に あわせて カスタム製品 を開発/提供	自社保有の プロセスを 利用し お客さま 設計製品を 生産	お客さまから プロセスと 設計を移管して いただき、 お客さま 製品を生産	ウェハー生産 の一部を 加工処理

お客さまのニーズに基づいたファンドリーソリューションを
提供することで低コスト・高品質の製品を実現

提供する製品

ディスクリート

1つの機能だけ備えた単機能半導体
半導体業界の“ねじ”と“くぎ”のような存在

その中でも、**パワー半導体**を中心とした
高品質・高付加価値の製品を提供

主なディスクリート製品

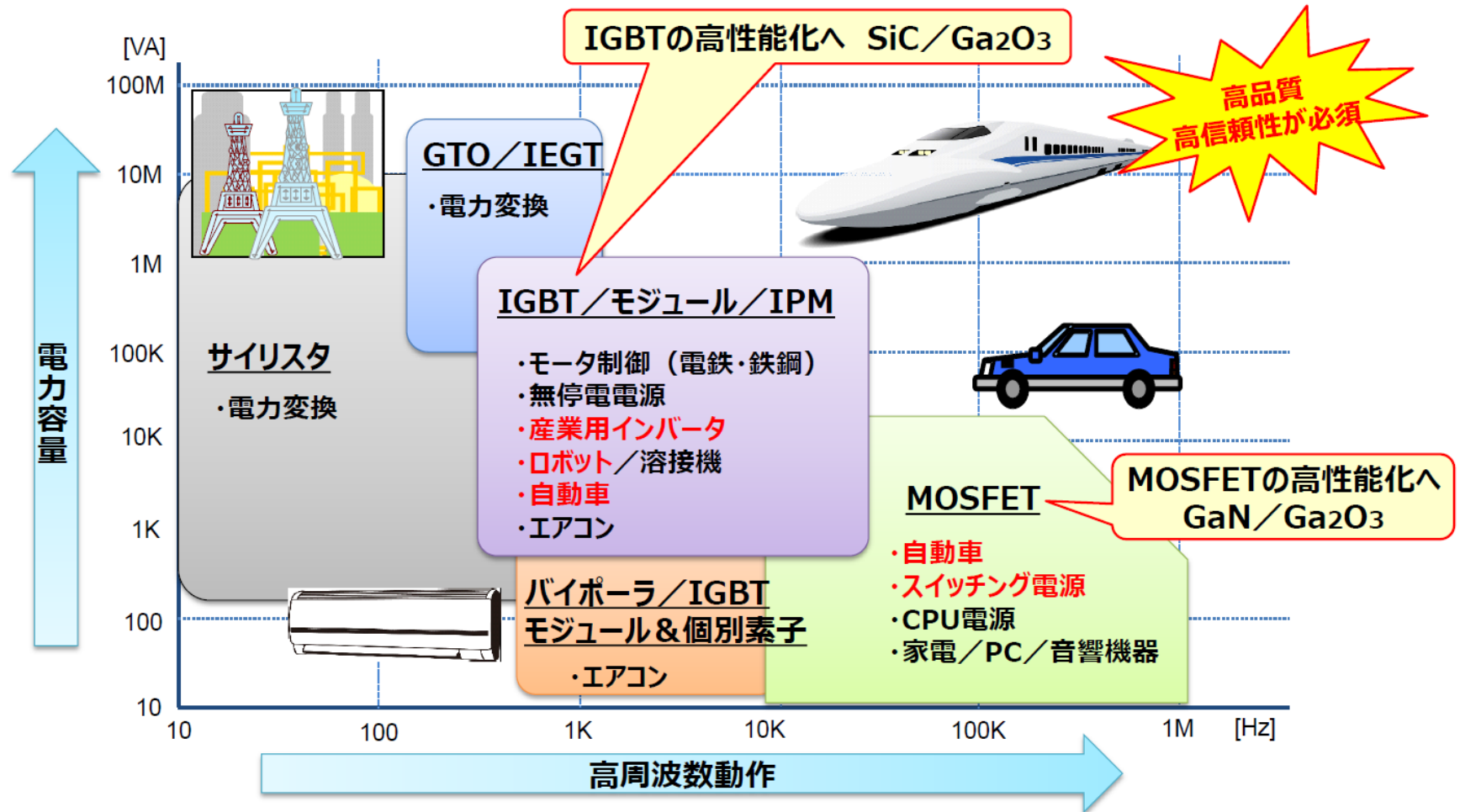
ダイオード	交流を直流に変換したり、逆流を防ぐなど、電気の流れを整える部品。
トランジスタ	電気を流したり、止めたりするなど、電気の流れをコントロールする部品。
IGBT	電力制御の用途で使用する部品パワー半導体分野のトランジスタ分野に分類される。

※ファンドリー：顧客から半導体の製造工程を受託し、顧客の設計データに基づいて半導体を製造する会社

2. 事業内容

2-4. フェニテックが展開する事業②

- 電力の変換や制御をするパワー半導体は、EV、産業機器、鉄道、家電等の省エネ需用により、今後も成長が期待できます。



3. 業績

1. 2019年3月期 第1四半期業績概要
2. 2019年3月期 第1四半期業績 売上高
3. 2019年3月期 第1四半期業績 営業利益
4. 2019年3月期 業績予想
5. 連結売上高・営業利益の推移

1 トレックスについて

2 トレックス・グループ

3 **業績**

4 株主還元

3. 業績

3-1. 2019年3月期 第1四半期業績概要（連結）



(単位：百万円)

科目	18.3期 1Q実績	19.3期 1Q実績	対前年同期比 増減率
売上高	5,713	6,203	8.6%
営業利益	455	675	48.3%
営業利益率	8.0%	10.9%	2.9pt
経常利益	465	923	98.3%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	234	496	112.1%
EPS（円）	25.87	45.72	76.7%
海外売上高比率（*1）	72.0%	68.2%	▲3.8pt
平均為替レート（1\$=）	¥111.6	¥108.7	-
減価償却費	221	195	▲11.8%
設備投資	137	426	210.9%

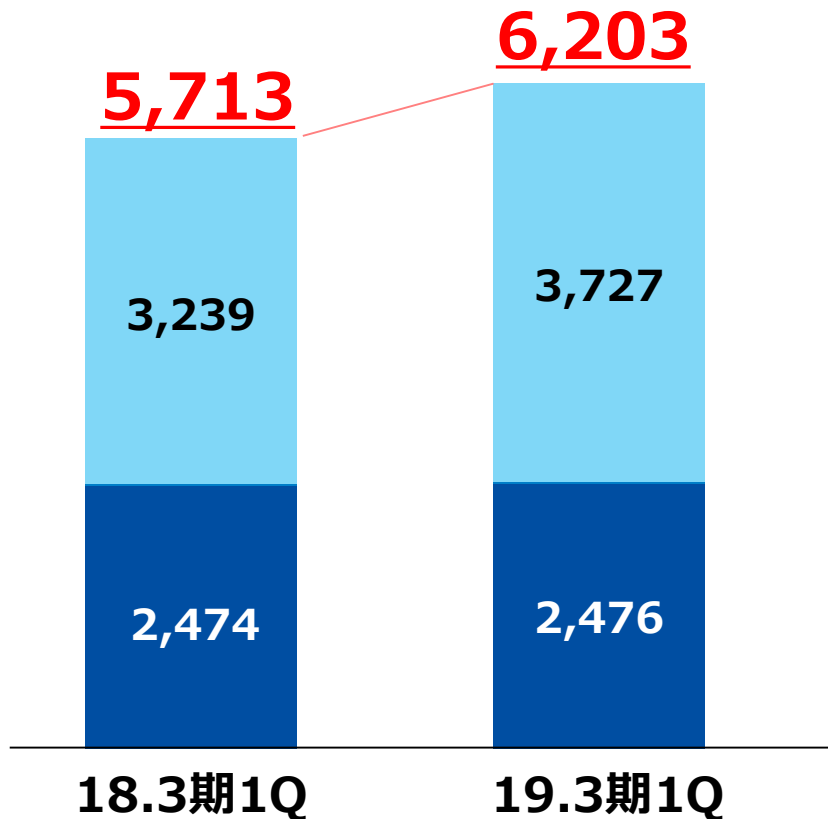
（*1）海外売上高比率：外貨建て売上比率

3. 業績

3-2. 2019年3月期 第1四半期業績 売上高

(単位：百万円)

■ : トレックス
■ : フェニテック寄与分



➤ トレックス

- 産機分野が好調に推移
- 民生品向けが低調で横ばい
- 国内は回復基調継続

➤ フェニテック

- 国内やアジアの販売が好調
- ディスクリートが好調

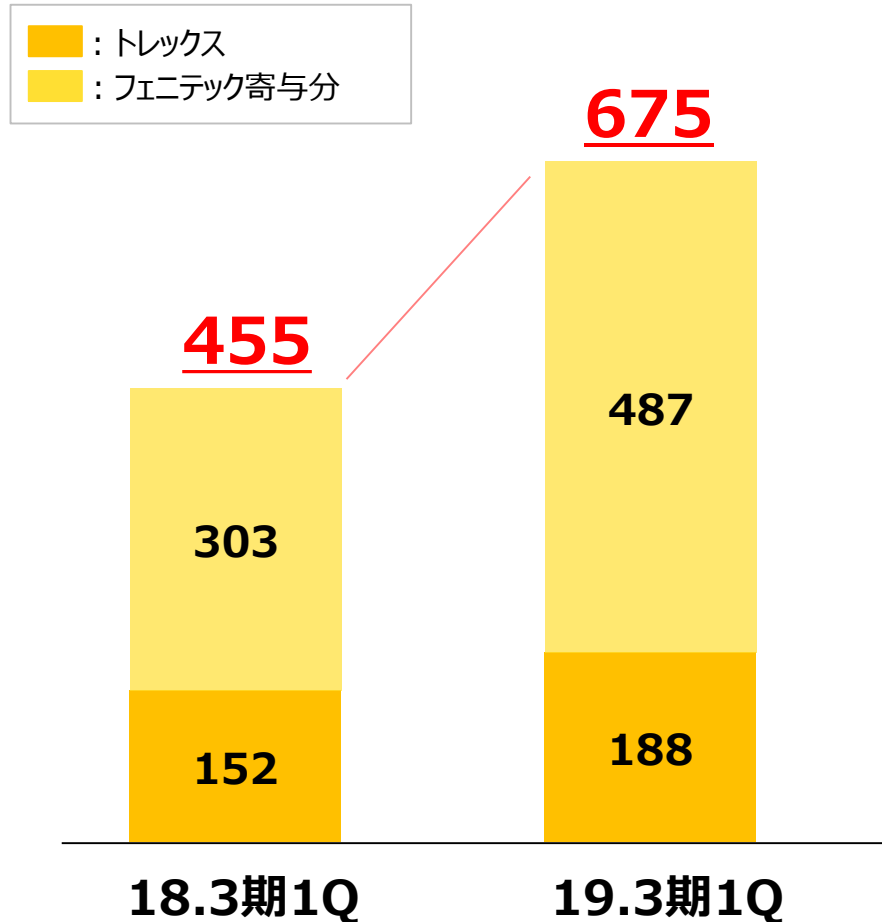
(単位：百万円)

	18.3期1Q 実績	19.3期1Q 実績	対前年同期比増減率
売上高	5,713	6,203	8.6%

3. 業績

3-3. 2019年3月期 第1四半期業績 営業利益

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 売上総利益は横ばい、減価償却費等の販管費減少により増益

➤ フェニテック

- 販売好調による増収増益でアップ
- 稼働率上昇、生産性向上により収益性向上

(単位：百万円)

	18.3期1Q 実績	19.3期1Q 実績	対前年同期比増減率
営業利益	455	675	48.3%

3. 業績

3-4. 2019年3月期 業績予想

(単位：百万円)

科目	19.3期 上期 当初予想	19.3期 上期 修正予想	対当初 予想比 増減率	19.3期 通期 当初予想	19.3期 通期 修正予想	対当初 予想比 増減率
売上高	12,300	12,900	4.9%	26,000	26,300	1.2%
営業利益	450	1,050	133.3%	1,900	2,000	5.3%
営業利益率	3.7%	8.1%	4.4Pt	7.3%	7.6%	0.3Pt
経常利益	450	1,280	184.4%	1,900	2,230	17.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (*1)	244	700	186.9%	1,070	1,290	20.6%
EPS (円)	22.52	64.60	186.9%	98.76	119.06	20.6%
平均為替レート (1\$=)	¥110.0	¥110.0	-	¥110.0	¥110.0	-
減価償却費	-	-	-	1,409	1,409	-
設備投資	-	-	-	3,679	3,679	-

(*1)海外売上高比率：外貨建て売上比率

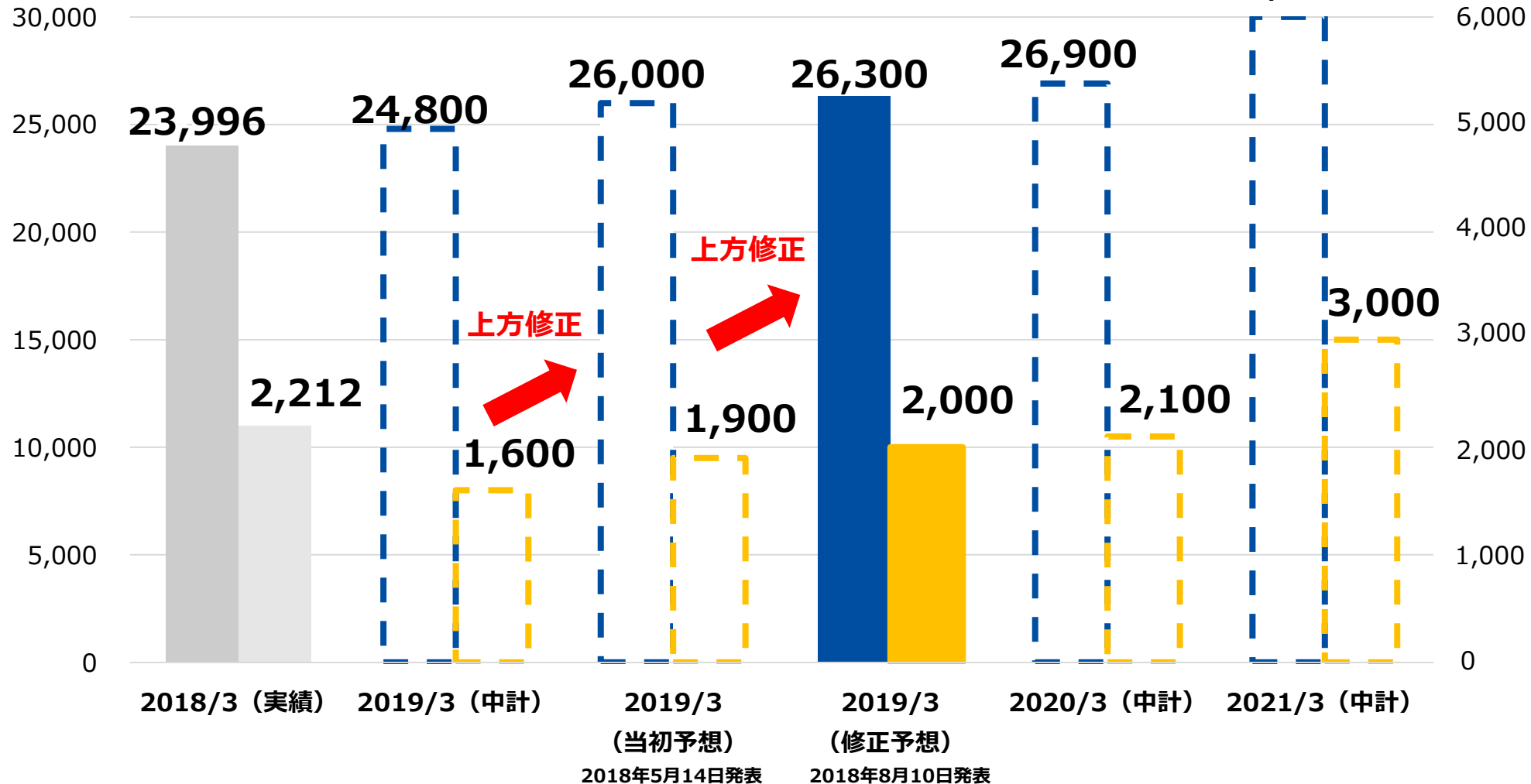
3. 業績

3-5. 連結売上高・営業利益の推移

単位：百万円
左軸：売上高

トレックスグループ[°]連結売上高・営業利益の推移

単位：百万円
右軸：営業利益



4. 株主還元

1. 基本方針

2. 配当金

1

トレックスについて

2

トレックス・グループ

3

業績

4

株主還元

4. 株主還元

4-1. 基本方針

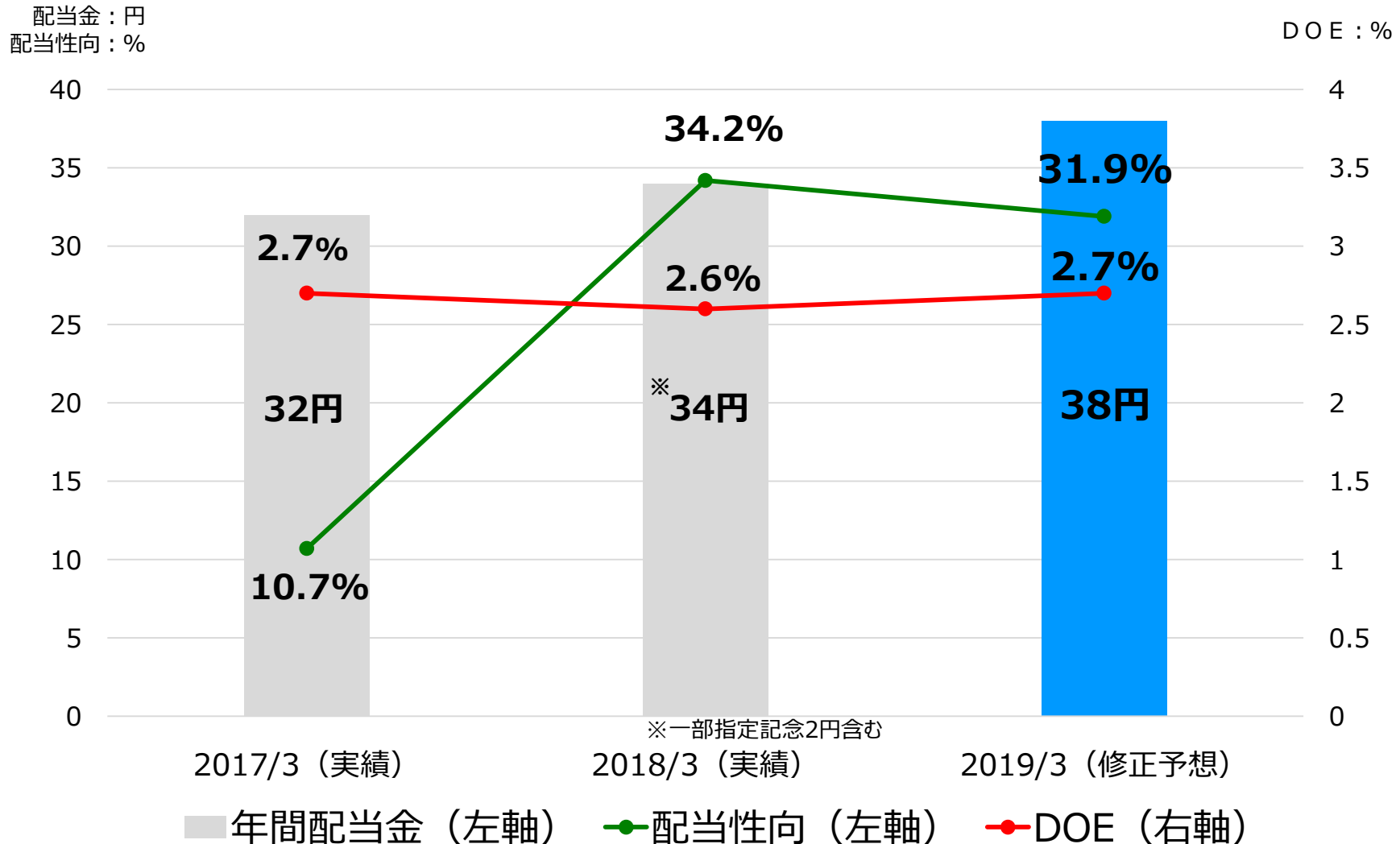
戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元の拡充として株主資本配当率（D O E）3%程度を当面の目標として実施してまいります。

4. 株主還元

4-2. 配当金

連結配当性向20%以上、D O E 3%程度を目安に還元



本資料に記載された内容は、2018年8月23日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

